

各所属長殿
柔道部長殿大分県柔道連盟
会長 穴井隆信

第39回大分県中学校柔道体重別選手権大会の開催について（案内）

寒中の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より本連盟の振興・発展に格別のご理解、ご支援をいただき厚くお礼を申し上げます。

つきましては、標記大会を下記の通り開催しますので、ご多用中のところ誠に恐縮に存じますが、ご参加下さいますようご案内いたします。

記

- | | |
|-----------|---|
| 1, 名称 | 「第39回大分県中学校柔道体重別選手権大会」 |
| 2, 主催 | 大分県柔道連盟 |
| 3, 主管 | 大分県柔道連盟中学部 |
| 4, 後援 | 大分合同新聞社（申請中） |
| 5, 期日 | 令和6年3月9日（土曜日） |
| 6, 日程 | 計 量 8:45 ~ 9:20
審判監督会議 9:20 ~ 9:40
開 始 式 9:50 ~
試 合 開 始 10:00 ~
表 彰 式 （競技終了後） |
| 7, 会 場 | 『レゾナック武道スポーツセンター 武道場』
大分市横尾1351 Tel.097-520-0800 |
| 8, 競技方法 | (1) 男女とも個人戦のみとし、体重別階級制で行う。
(2) 全階級トーナメントで行う。
男子8階級 50kg、55kg、60kg、66kg、73kg、81kg、90kg、90kg超級
女子8階級 40kg、44kg、48kg、52kg、57kg、63kg、70kg、70kg超級 |
| 9, 競技規則 | ・「国際柔道連盟試合審判規定（2022年4月1日施行の新ルール）」及び国内における「少年大会特別規定」による。
※2023年6月1日に発出された「国際柔道連盟試合審判規定の解釈変更に伴う国内大会の適用について」を導入する。
・判定基準は、「技あり」、または「僅差」以上とする。ただし、「僅差」は「指導の差が2以上」とする。「指導の差が1」以内の場合は、GSによる延長戦を行う。
「指導」差が上回った時点で試合終了とする。
・試合時間はすべて3分間とする。GSは無制限とする。 |
| 10, 組み合わせ | ・実行委員会で、令和5年度大分県中学校新人柔道大会等の成績を参考にしてシード選手を決定した後、厳正なる抽選を行う。 |
| 11, 参加料 | ・1人につき 800円（保険代を含む）※大会当日受付で納入して下さい。 |

- 12, 申込方法 ・申込方法 申込は、①下記宛てにメールで送信（様式1.2）する。
作成は、申込書の記入例を参照すること。
②押印した申込書（様式1.2）を郵送。

郵送先	〒879-5421 由布市庄内町柿原 49 番地 由布市立庄内中学校 後藤 義治 宛
メール	由布市立庄内中学校 後藤 義治 アドレス gotou-yoshiharu@oen.ed.jp

- 13, 申込期日 令和6年2月9日（金）17：00迄 （期日厳守でお願いします。）

- 14, 参加資格
- ①大分県内の中学1・2年生とする。
※この大会は学校部活動に所属していない生徒について、地域スポーツクラブ（道場）での出場を認める。
 - ②参加者は半年（6か月）以上の修業経験を有する者とする。
 - ③参加者は必ず全柔連に登録すると共に、各自で保険に加入していること。
 - ④監督及びコーチは、校長・教職員・部活動指導員、地域スポーツクラブ（道場）の指導者とする。
学校部活動の場合、コーチは、大分県中学校体育連盟に登録した外部指導者に限る。
※コーチは、審判を必ず行う。
 - ⑤学校部活動の場合、監督は全日本柔道連盟公認指導者資格を有する者とする。
地域スポーツクラブ（道場）の場合、監督・コーチは全日本柔道連盟公認指導者資格を有する者とする。

- 15, その他
- ①期日以降の申し込みは一切受け付けない。
 - ②応急処置は主催者で行うが、責任は一切負わない。保険の範囲内での補償とする。
 - ③柔道衣（ゼッケンを含む）は、公益財団法人全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣・下穿き・帯）を着用すること。※IJF：赤枠 全柔連：赤番号
 - ④貴重品の管理は、チーム毎に責任を持って行うこと。靴は、各自で管理する。
 - ⑤シード順位決定戦を行う。
大分県中学校総合体育大会柔道競技個人戦シード選手の選考とする。
 - ⑥体重の超過・不足については、500gまで認める。それ以上の超過・不足は、失格とする。
 - ⑦エントリーする階級は、県新人大会から変更されてもかまいません。ただし、シード権も関わっていますので県総体出場階級を見据えてのエントリーをお願いします。
 - ⑧脳震盪の対応について指導者及び選手は下記事項を遵守する。
 - ・大会1ヶ月前以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - ・大会中脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
 - ・練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。
 - ・当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
 - ⑨皮膚真菌症（トングランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
 - ⑩全日本柔道連盟「試合場におけるコーチの振る舞いについて」を厳守すること。
 - ⑪今回は、応援者の制限はありません。
 - ⑫この大会は4月の九州中学校体重量別団体優勝大会（男子4名・女子3名）の選考の一つとする。